

2017年7月21日

ご関係各位

西南学院大学神学部長 天野 有

### クラッパート教授による「神学連続公開講座」の御案内

主の御名を讃美いたします。

日頃より、神学部のことを祈りに覚え、支えていただいておりますこと、ここに改めて感謝申し上げます。

さて、来たる9月11日（月）～15日（金）、神学部では、ベルトールト・クラッパート教授（組織神学）をお迎えして五日間の「神学連続公開講座」（入場無料）を行ないます。教授は、ドイツ告白教会の流れに立つヴッパータール神学大学（1935年告白教会により創設、ナチ政府によって直ちに閉鎖命令が出されたものの1941年春まで非合法的に活動を継続。なお、2007年、ベーテル神学大学と合併し現在はヴッパータール-ベーテル神学大学）にて、1974年以来教えてこられ、定年（2004年）後も請われて現在なお精力的に講義を続けておられます。1993年を皮切りに今回で6度目の来日となりますが、福岡の地でのこうした集中「連続公開講座」は初めてであり、そこでは、聖書神学者としてのバルト、ボンヘッファーの神学を、宗教改革（ルター、カルヴァン）や告白教会／バルメン宣言も視野に入れつつ御講演いただく予定です。——「クラッパート教授は実にすぐれた神学の教師であった。その講義ぶりと対話に接して、多くの人が、神学するという事柄自体、あるいは神学的対話の喜びを初めてのように経験して感動した。……」（1993年初来日後の森岡巖・新教出版社前社長の言葉）。この「実にすぐれた神学の教師」との貴重な学びと出会いの場に、どなたも奮ってご参加くださいますよう、ここにご案内・ご招待申し上げます。

在主



#### 【講師略歴】

ベルトールト・クラッパート（Bertold Klappert）

1939年、宣教師の息子としてインドネシア・スマトラに生まれる。ヴッパータール神学大学、ゲッティンゲン大学を経てボン大学でクレックとガイヤーのもとで学位取得（博士論文は『十字架につけられた方の復活』——現代神学の文脈におけるバルトのキリスト論研究——（1971年）。教授資格取得論文は『ルターとバルトにおける律法と福音』（1976年）。1974年から2004年までヴッパータールで組織神学の教授を務める（ヴッパータール-ベーテル神学大学名誉教授）。日本の他、ヨーロッパ、アメリカ合衆国、イスラエル、インドネシアでも講義・ゼミに客員教授として招かれる。1969～1971年、ボンにおけるYMCAの「麻薬中毒患者のための相談所」委員長を務め、1980年代にはドイツ・ラインラント州の「南アフリカとナミビアのための自由」を支援するエキュメニカルなキリスト教団体のメンバーとして働く。他方、キリスト教とユダヤ教との対話およびキリスト教とイスラム教との対話にも精力的に取り組む。近著に『ソクラテスの死とキリストの死——日本における講演と説教——』（武田武長編、新教出版社、2016年。教授の更に詳しい個人史については同3～11頁所収の「日本の読者へ」参照）がある。

**【プログラム (すべて通訳付き)】**

9月11日(月)～14日(木)

13:00～13:30 礼拝 (Andacht) ——クラッパート師による短い聖書講解——

13:40～15:10 講演——クラッパート教授——

15:30～16:30 質疑応答 (1)——全体——

16:40～17:20 質疑応答 (2)およびディスカッション——全体——

9月15日(金)

19:00～21:00 講演および質疑応答——クラッパート教授——

**【講演タイトル】**

9月11日(月) 講演 1. 「旧約聖書／ヘブライ語聖書と新約聖書との一体性」(Die Einheit des Alten Testaments/der Hebräischen Bibel und des Neuen Testaments)

9月12日(火) 講演 2. 「カール・バルトおよびディートリッヒ・ボンヘッファーの神学のアクチュアリティと獄中書簡におけるボンヘッファーのバルト批判」(Die Aktualität der Theologie Karl Barths und Dietrich Bonhoeffers und Bonhoeffers Barth-Kritik in seinen Gefängnisbriefen)

9月13日(水) 講演 3. 「ルター、カルヴァン、バルトの十字架の神学と神義論を巡る問い」(Luthers, Calvins und Barths Kreuzestheologie und die Theodizeefrage)

9月14日(木) ——神学部ミッション・デーとして——講演 4. 「カール・バルトの光の教説および諸宗教との対話についてのその意義」(Karl Barths Lichterlehre und ihre Bedeutung für den Dialog mit den Religionen)

9月15日(金) 19:00～21:00. 講演 5. 「『キリスト者共同体と市民共同体』。教会と社会——到来しつつある神の国を仰ぎ見つつ——(バルメン宣言第5テーゼ)」("Christengemeinde und Bürgergemeinde". Gemeinde und Gesellschaft im Blick auf das kommende Reich Gottes (Barmen Art V))

**【会場】(日によって異なりますのでご注意ください。)**

9月11日(月)～9月13日(水) ——日本ボンヘッファー研究会との共催——は西南学院百年館(松緑館)1階多目的ホール。

9月14日(木) は西南コミュニティーセンター1階ホール。

※本学には駐車場はございませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

9月15日(金) ——九州バプテスト神学校との共催——は大名クロスガーデン。

<大名クロスガーデン住所> 福岡市中央区大名 1-12-17

[お問合せ]

西南学院大学 宗教部事務室 (担当: 加藤、萱田)

TEL: 092-823-3336 FAX: 092-823-3335

Email: rel@seinan-gu.ac.jp

住所: 〒814-8511 福岡市早良区西新 6-2-92